

▽平成 28 年度実施事業計画

I 各事業の内容

定款上における事業の種類

(1) 故中村元博士の蔵書の管理及び中村元記念館の管理と運営

1. 中村元博士蔵書整理事業

○事業計画

事業の目的	3 万点を超える中村博士の蔵書を整理し、データベース化することで、哲学のみならず幅広い人文科学研究の進展に寄与すること。
実施期間	通年
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・日本最大の総合目録・所在情報データベースである NACSIS-CAT へ登録し、全世界への公開に向けて、博士の蔵書の整理を推進する。・松江市からの委託(委託費約 1,500 万円/年)を受け、蔵書の清掃・長期保管処理・整理・登録を推進する。・今年度登録目標冊数:3,000 冊

(2) 東洋思想・文化に関わる研究、講座、イベント等の実施

1. 講座運営事業(東方学院松江校の運営)

○事業計画

事業の目的	インド哲学・仏教学をはじめとする東洋思想の講義を開講することを通じて、故中村元博士の理念を継承していく。
実施期間	平成 28 年 4 月 11 日～平成 29 年 3 月 26 日
事業内容	講師・受講生、開催会場などの管理と運営。それにとまなう会計処理や広報活動。
連携先	公益財団法人 中村元東方研究所
延べ参加者数	<ul style="list-style-type: none">・予定講座数:128 講座・入学者数:52 名(のべ 107 名)
想定される効果	<p>当記念館の理念を実現していく上で、特に重要な事業の一つである。そして、定期的な来館者を確保できる点でも有益である。</p> <p>また、本事業を通じて、山陰地域の住民に東洋の思想・文化の普及が見込まれる。</p>

2. 天台宗国際シンポジウム(仮称)の開催

○事業計画

事業の目的	天台宗の国際シンポジウムの開催を支援する。
実施期間	平成 28 年(日程未定)
事業内容	シンポジウムの運営・補助。
連携先	天台宗
延べ参加者数	未定
想定される効果	世界中から多数の天台宗関係者が来県される予定。宿泊はもちろんであるが、中村元記念館の見学をはじめ観光の分野で経済的効果が見込まれる。 世界の第一線の研究者が集い、中村元記念館について情報発信を行うことで、国際文化観光都市としての松江市のブランド力向上に寄与する。
今後の計画	その他、思想・哲学に関する全国/国際大会の誘致に努める。

3. 研究員による研究活動

○事業計画

事業の目的	当記念館所蔵の文献を活用し、故中村元博士が開拓した学問の道を探求し、山陰地域の学術・文化の振興に寄与する。
実施期間	継続中
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・研究員による研究発表を中村元記念館開館四周年記念イベントの際に予定。・「中村元記念館通信」に研究員より寄稿していただく。・研究報告の発行を予定。・岡崎秀紀研究員による「ダルマパーラ自筆日記の調査と分析～インド側から見た世紀転換期の日印文化交流～」の研究報告(神戸学院大学人文学部研究推進費)。・「中村元思想文化カフェ」の開催:4月17日、6月18日に開催予定
連携先	公益財団法人中村元東方研究所
想定される効果	研究員によるインド哲学や仏教をはじめとする東洋思想の研究発表などを通じて、当記念館の認知度の上昇を期待できる。

※当 NPO 法人には、中村元東洋思想文化研究所という研究部門が設置されている。

4. 大学連携事業

○事業計画

事業の目的	当記念館所蔵の文献を活用し故中村元博士が開拓した学問の道を探求し、次世代の研究者の発掘、教育に寄与する。
実施期間	継続中
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・国内外の仏教学・哲学に関する大学/研究室と連携し、長期休暇を活用した合宿利用を誘致する。・東京大学において実施されている、学生の現場体験を松江市内で受け入れるための計画の立案とその実施。・当館研修者による大学への出前講座による普及・啓発。・当館内に連携大学の PR スペースを開設し、各大学の企画による展示を行う。・第 2 回「中村元東洋思想文化賞」を実施し、東洋思想を学ぶ学生による学士論文、修士論文の表彰を行う。
連携先	連携調印済大学: 大正大学、立正大学、佛教大学、島根大学、島根県立大学、東京大学(インド哲学仏教学研究室)、東洋大学、武蔵野大学、龍谷大学、大谷大学、 連携検討中の大学: 花園大学、高野山大学、東國大学(韓国)、Banaras Hindu University(インド)
想定される効果	国内外の大学に活用していただくことによる、研究施設としての価値向上、博士の研究に対する顕彰。また、全国に対する当館のPRに資する。 若者への訴求力を高め、今後日本有数の哲学者の集積地として中村元記念館が発展することで、文化・教育レベルの高い松江市のブランドイメージが醸成される。

5. 修学旅行企画

○事業計画

事業の目的	寛容と慈悲の心を持った青少年の育成を目的とし、小学校から高等学校までの修学旅行を誘致し、地域経済にも寄与する。
実施期間	通年
事業内容	中村元記念館を核とし、出雲國神仏霊場、社寺縁座の会、松江市内の観光施設と連携した、「慈悲の心」を学ぶ青少年育成の修学旅行プランを造成する。 中海・宍道湖圏域を中心として、3泊4日程度のモデルコースを造成する。山陰ならではの神話、自然、そして哲学を組み合わせた魅力的なプランとする。 立正大湊南高校、駒込学園(東京)との連絡を継続する。
連携先	神仏霊場 社寺縁座の会、松江市観光協会等
延べ参加者数	—
想定される効果	青少年の育成、地域経済の活性化への寄与

5. 企画展開催事業

○事業計画

事業の目的	生命やインド等をテーマとした写真や絵画を展示することで、中村博士の哲学思想や研究に対する親近感を、特に若年層の中に沸き起こすこと。
実施期間	随時開催予定
事業内容	市民ホールや記念館の廊下に借用した写真や絵画を展示する。1回の展示で25枚程度を想定。 現在、並河万里写真財団から写真展開催についてのオファーを受けており、「並河万里写真展」の開催について検討中。 赤塚不二夫、平山郁夫、手塚治虫などの顕彰施設と連携した企画展示の開催に向けて調整する。
想定される効果	若年層の来館の増加による交流人口の拡大

6. 「中村元東洋思想文化賞」の実施

○事業計画

事業の目的	学術振興の一環として、東洋の思想文化に関する学生の論文を募集することで、次世代を担う若い世代への研究の啓発・助成を行うため。
実施期間	通年
事業内容	全国の大学の学部生の卒業論文及び修士課程学生の修士論文を募集し、公益財団法人 中村元東方研究所の協力によって審査を行い、下記の賞の受賞者を決定する。 ・優秀賞 20万円+賞状・記念品 1名 ・奨励賞 10万円+賞状・記念品 1名 ・松江市長賞 10万円+賞状・記念品 1名 今年度は京都大学、筑波大学、駒澤大学、東洋大学、二松学舎大学、仏教大学、国際仏教大学院大学から論文の応募をいただいている。
想定される効果	人文科学研究の振興、若手研究者の研究意欲向上

(3) 東洋思想・文化の普及、啓発のための事業

1. 中村元記念館友の会の会員募集・会員特典の提供

○事業計画

事業の目的	当館の運営に対し共感し、協力する方々に「中村元記念館友の会」に加入していただき、中村元博士の業績、東洋思想及び当館の活動に対する理解を一層深めていただく。
実施期間	通年
事業内容	中村元博士の蔵書整理・公開、東方学院松江校の運営など、当館の活動に対して共感・協力していただける方を対象に、「中村元記念館友の会」に加入していただく。 ・会費 2,000 円/年 ・会員特典 会員証の発行、活動報告の発送、館内での書籍・グッズ購入時の割引、提携施設(由志園等)の入場料割引、会員同士の親睦会(年 1 回程度)の案内 その他検討中 ・平成 28 年度会員目標 1,000 名

1. グッズ販売

○事業計画

事業の目的	来館者へのお土産品の提供による、来館者満足度の向上。中村元博士及び東洋思想に触れる機会を創出する。
実施期間	通年
販売グッズ	現在のオリジナルグッズ販売を継続し、さらに新たなグッズの開発に努める。コーヒーの売上が好調な為、紅茶や中村先生の好まれた緑茶の販売も検討している。 ・クリアファイル 中村元記念館 350 円/1 枚 ・ノート 320 円/1 冊 ・慈しみのコーヒー 500 円/1 パック

2. 哲学博物館/記念館との連携

○事業計画

事業の目的	広く全国の方へ東洋思想・哲学を普及するため、哲学者をはじめとした人文学者を顕彰する全国の施設と連携し普及活動を推進。
実施期間	継続中
事業内容	「史跡足利学校」との次なる交流事業の実施について協議を進める。 他館については連携に向けて情報交換、相互の広報活動を継続する。
連携先	石川県金沢市「鈴木大拙館」、石川県かほく市「石川県西田幾多郎哲学館」、足利学校、東洋文庫、和歌山県田辺市「南方熊楠顕彰館」等

3. 広報活動

○事業計画

事業内容	<p>中村元記念館及び東洋思想に興味を持っていただく機会を創出するため、チラシやパンフレットだけでなく、ホームページやフェイスブックなど様々な媒体を通じて情報発信を行う。</p> <ul style="list-style-type: none">・パンフレットの配布(年間 20,000 部程度配布予定)・中村元記念館通信の発行(今年度 3 回 各 10,000 部程度)・ホームページの運営(リニューアル予定)・メールマガジンの発行(年間 12 回程度配信予定)・フェイスブックの運営(年間 24 回程度更新予定)・プレスリリースの発表(年間 6 回程度発表予定)・山陰中央新報紙面上にて、中村元博士が遺された「慈しみの言葉」の連載(毎日)・中海テレビによる中村元博士の業績や中村元記念館を紹介する映像を作成(平成 28 年 5 月より作成開始)
-------------	--

4. 団体見学受け入れ事業

○事業計画

事業の目的	観光・研修等の目的で来館される団体を対象に、館内の案内のみならず中村博士の業績や東洋思想についてスタッフによる説明を行うことで、中村博士の業績についてより深く理解していただき、満足度を高めること。
実施期間	継続中
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・予約制・有料で、団体来館者に対してスタッフから説明を行う。・資料を配布するだけでなく、記念品となるグッズを提供し、個人で来館した場合とは異なる体験をしていただく。・来館目的、来館手段、その他の訪問先等について詳細なアンケート調査を実施・集計・分析を行う。
想定される効果	<p>中村博士の業績や記念館の取組について来館者により深く理解していただくとともに、ノベルティグッズの提供による記念館の PR 効果が期待される。また、有料で案内を行うことで、記念館が継続していくための貴重な収入源となることが期待される。</p> <p>来館者からのアンケート調査結果より、記念館周辺の観光実態の調査を行い、今後の記念館の運営方針検討や、周辺地域の観光施策を立案する為の基礎資料を得ることができる。</p>

(4) 国際文化交流事業

1. アジア文化紹介事業

○事業計画

事業の目的	中村元記念館の必要性を周知し、また市民による利用の向上を目的とし、中村元博士が研究されたアジア全域について学術的な視点だけでなく、文化的な交流も促進し、興味を持っていただくきっかけを創出する。
実施期間	通年
事業内容	<p>イベントでの紹介</p> <ul style="list-style-type: none">・ぼたん祭のステージイベントとして、中村元記念館研究員の岡崎秀紀氏が主催する「La Esperanza」の民族音楽演奏を実施する(H28年4月30日)。・中村元記念館関係イベント時に、インドの舞踊、シタール演奏や、インドネシアガムラン、南米のフォルクローレなど民族芸能などを紹介。・サリー等の民族衣装体験ブースやカレー販売ブース等を設け、各国の生活文化を紹介する。 <p>図書館での文化紹介本の設置</p> <ul style="list-style-type: none">・アジア各国の文化紹介本等を購入し、気軽に読書することができる環境を整備。
想定される効果	哲学/宗教学といった学問的な入り口だけでなく、文化や芸術など比較的興味を持ちやすい分野からの入り口を用意することで中村元記念館の利用向上、中村元博士の顕彰に寄与。



■バリ舞踊のステージ

2. 海外哲学研修

○事業計画

事業の目的	対象とする思想や哲学を理解するには、文字や写真による学習のみでは把握がむずかしいことが多々ある。そこで、現地まで赴き、その地の宗教や思想・哲学・風土に実際に触れてもらうことで、その理解をより深めてもらうための一助とする。
実施期間	日程・研修地ともに検討中。
事業内容	哲学・思想にまつわる地域への旅行企画・運営。これまで宿泊を伴う研修を開催してきたが、平成28年度は、日帰りの研修旅行を企画する。
延べ参加者数	・国内研修:40人 ・海外研修:20人
想定される効果	対象地域の研究者が添乗・案内することで、通常の旅行では訪問できない地を訪ねることができ、また研究者ならではの奥深い解説によって一般の観光旅行とは大きく異なる体験が提供できる。

(5) 地域の文化、経済、観光、人づくりを推進するために必要な事業

1. 地域との交流事業

○事業計画

事業の目的	中村元記念館が故中村元博士を顕彰する為の施設であるだけでなく、地域に必要とされる施設であり続ける為に、地元八束町の住民の皆様との交流事業を実施する。
実施期間	・八束クリーン作戦(清掃)への参加:年3回 ・ぼたん祭りへの参加:4月30日 ・八束町民特別招待日:8月ごろ ・「花と緑の島づくり協議会」への参加
事業内容	・八束クリーン作戦に参加し、大根島の美化を推進。(H.27年度は1度参加) ・ぼたん祭への参加・運営の協力を実施。 ・「花と緑の島づくり協議会」へ参加し、大根島内の緑化事業など、地域振興活動に協力する。 ・中村元杯グランドゴルフ大会の開催。
連携先	松江北商工会、八束町内の自治会等
延べ参加者数	八束町特別招待日:50名
想定される効果	町内イベントへの参加、講師・研究員と地元住民との交流、特別招待日の実施によって当記念館の認知度を向上させ、住民の間で当記念館の存在意義を共有していただける。

2. 子ども教育事業

○事業計画

事業の目的	子どもたちが自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力、生命を大切にする心や他人を思いやる心、善悪の判断などの規範意識等の道徳性を身につけられるよう、当記念館において小中学生を対象とした講義を実施。
実施期間	継続中
事業内容	・中村元博士伝記作成事業:昨年度作成した、小学校5年生、中学校2年生を対象とした地域学習及び道徳の副読本を松江市内の小中学校へ配布する。 ・周辺市町村の小学校5年生、中学校2年生を対象に当記念館の見学案内、故中村元博士の業績や思想・理念について紹介する講義を実施。 ・小中学生の職場見学の受け入れや、夏休みなどの長期休暇を活用した学生ボランティアの受け入れも行う。
連携先	松江市教育委員会、周辺市町村の小中学校
延べ参加者数	職場体験・学生ボランティア:延べ20名程度
想定される効果	子どもたちが「慈しみの心」と「寛容の精神」を持つ大切さを知る。また、松江が生んだ偉人である故中村元博士の業績を伝えることで子どもたちの郷土愛を醸成し、郷土に誇りを持てるようになる。

3. 山陰インド協会への支援

○事業計画

事業の目的	中村元記念館が地域に必要とされる施設であり続ける為に、地域経済への寄与を目的とし、「山陰インド協会」に対して支援を実施。
実施期間	継続中
事業内容	中村元博士が築いたインドとのつながりを文化、経済など幅広い交流に広げるため、山陰インド協会の活動をさらに支援していく。 地元中小企業による「ODAを活用した中小企業の海外展開事業」、行政機関による「ODA草の根技術協力事業」への参加を支援。
連携先	中海・宍道湖市長会、中海・宍道湖・大山圏域経済会
想定される効果	地元企業の海外事業展開による、地域経済の活性化

4. 旧八束教員住宅の利活用

○事業計画

事業の目的	中村元記念館の利用者に対して会議・研究・宿泊等の用途に対して旧八束教員住宅を提供することで利便性を高め、中村元記念館の利用を促進する。
実施期間	継続中
事業内容	改修した旧八束教員住宅を研究者、学生等の記念館利用者に対し安価で提供することで、利用者の滞在日数の延長や地域との交流等を目指す。
連携先	松江市、八束町公民館
想定される効果	記念館及び八束町の認知度の向上。

5. 地域人材活用育成事業

○事業計画

事業の目的	地域の学生や一般のボランティアを組織化して中村元記念館の事業を支援していただくことで、地域に眠る人材の活用や育成につなげる。
実施期間	継続中
事業内容	島根県立大学の司書課程で学ぶ学生に対し、実地研修の場として中村元記念館の図書整理事業を支援していただく。 島根大学学生支援課と連携し、島根大学の学生ボランティアの募集を推進する。 既に登録しているボランティアサポーターの意向調査を通じて、本人の希望に応じた業務を割り振ることでボランティアの方が働きやすい環境を作る。
連携先	島根大学、島根県立大学、八束町公民館
想定される効果	学生の地域貢献や学習の深化、地域人材の生きがいの醸成。